



# Google Cloud Storage バケットを管理します

## Google Cloud Storage

NetApp  
October 08, 2023

# 目次

Google Cloud Storageバケットを管理します .....	1
Google Cloud Storageバケットを追加します .....	1
Google Cloud Storageバケット設定を変更します .....	4
Google Cloud StorageバケットでNetAppデータサービスを使用 .....	5

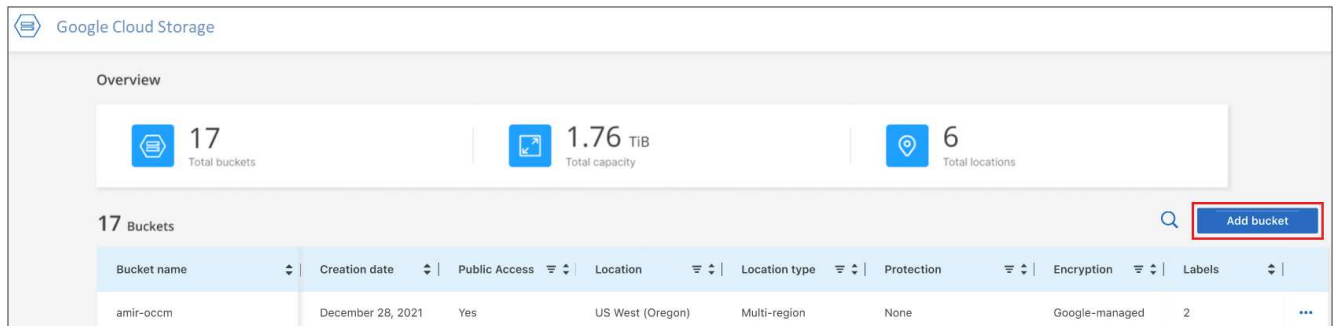
# Google Cloud Storageバケットを管理します

## Google Cloud Storageバケットを追加します

Google Cloud Storageの作業環境がキャンバスに表示されたら、BlueXPから直接バケットを追加できます。

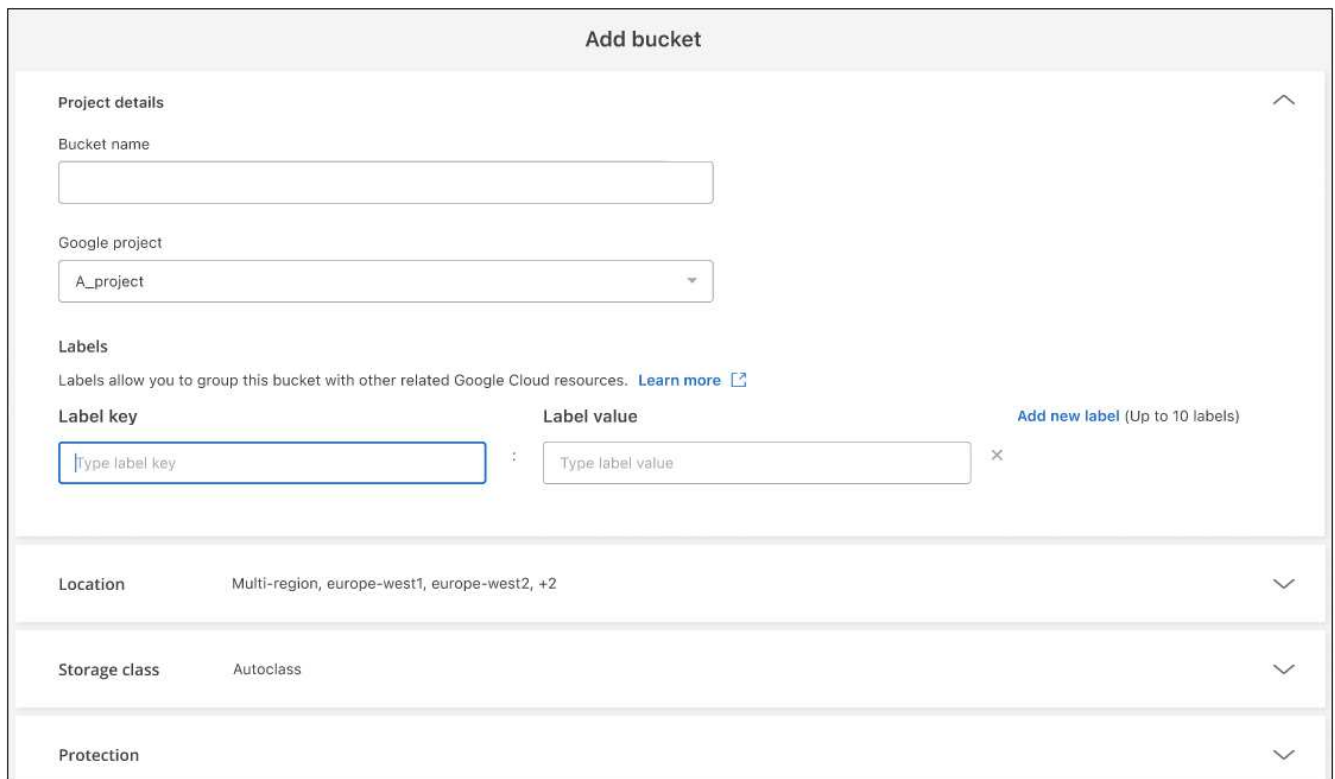
手順

1. キャンバスで、Google Cloud Storage作業環境をダブルクリックしてGoogle Cloud Storage Buckets Overviewページを表示し、\* Add bucket \*をクリックします。



ボタンの詳細を示すスクリーンショット。"]

\_Add bucket\_pageが表示されます。



ページのスクリーンショット。"]

2. [Project details]セクションに必要な情報を入力します。

フィールド	説明
バケット名	バケットに使用する名前を入力します。" <a href="#">命名要件については、Google Cloudのドキュメントを参照してください</a> ".
Googleプロジェクト	<p>バケットの所有者になるGoogleプロジェクトを選択します。これは、コネクタがデプロイされたプライマリプロジェクトでも、別のプロジェクトでもかまいません。</p> <p>ドロップダウンリストに他のプロジェクトが表示されない場合は、まだBlueXPサービスアカウントを他のプロジェクトに関連付けていません。Google Cloud コンソールに移動し、IAM サービスを開き、プロジェクトを選択します。BlueXPロールを持つサービスアカウントをそのプロジェクトに追加しますプロジェクトごとにこの手順を繰り返す必要があります。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;">  これは、BlueXP用に設定したサービスアカウントです。"<a href="#">このページで説明されているように</a>". </div>
ラベル	<p>ラベルは、Google Cloudリソースのメタデータです。バケットを作成するときは、ラベルキーと値のペアを10個まで追加できます。</p> <p>"<a href="#">ラベルの詳細については、Google Cloudのドキュメントを参照してください</a>".</p>

3. [Location]セクションで、バケットを作成する場所のタイプとリージョン（複数可）を選択します。3種類の場所から選択できます。

[場所の種類]を選択した場合	選択する項目
地域	[Available regions]フィールドの1つのリージョン。
デュアルリージョン	<p>「利用可能な地域」フィールドから地理的な場所(単一の大陸)を選択し、「利用可能な地域」フィールドで2つの地域を選択します。</p> <p>ターゲット15分以内に新しく書き込まれるすべてのオブジェクトに対して地理的冗長性を保証する場合は、「ターボレプリケーション」を有効にすることができます。</p>
マルチリージョン	[Available multi-regions]フィールドの地理的マルチリージョン。

Cloud Storageのすべてのデータは、アップロード後すぐに、少なくとも1つの地理的な場所内の少なくとも2つのゾーンにまたがって冗長化されることに注意してください。"[バケットの場所の詳細については、Google Cloudのドキュメントを参照してください](#)".

4. [Storage class\_]セクションで、バケット内のオブジェクトに使用するストレージクラスを選択します。4つのストレージクラスから選択することも、\_Autoclass\_を選択してGoogleが必要に応じてクラスを調整することもできます。

ストレージクラス	説明
標準	標準ストレージは、頻繁にアクセスされるデータ（「ホット」データ）や短期間だけ保存されるデータに最適です。

ストレージクラス	説明
ニアライン	ニアラインストレージは、アクセス頻度の低いデータを格納するための、低コストで耐久性に優れたストレージサービスです。
コールドライン (Coldline)	Coldlineストレージは、アクセス頻度の低いデータを保存するための、低コストで耐久性に優れたストレージサービスです。
Archive サービスの略	アーカイブストレージは、データアーカイブ、オンラインバックアップ、ディザスタリカバリのための、低コストで耐久性に優れたストレージサービスです。
オートクラス	Autoclassは、各オブジェクトのアクセスパターンに基づいて、バケット内のオブジェクトを適切なストレージクラスに自動的に移行します。

コストと取得料金はストレージクラスごとに異なります。"[ストレージクラスの詳細については、Google Cloudのドキュメントを参照してください](#)"。

5. [Protection]セクションで、データ保護ツールを使用してバケット内のオブジェクトを保護するか、データ暗号化設定を使用してデータへのアクセスを保護するかを選択します。

データ保護	説明
なし	デフォルトでは、バケットで保護ツールは有効になっていません。
オブジェクトのバージョン管理	<p>ライブオブジェクトバージョンを更新、交換、または削除するたびに、バケットは最新でないオブジェクトバージョンを保持し、オブジェクトの保護バージョンを継続的に維持します。[オブジェクトのバージョン管理 (Object versioning)]を選択すると、次の2つのオプションを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大オブジェクトあたりのバージョン数-オブジェクトごとに作成される最新でないバージョンの数を入力します。</li> <li>最新でないバージョンを期限切れにする-古い最新でないオブジェクトを削除するまでの日数を入力します。</li> </ul>
保持ポリシー	<p>保持ポリシーを使用すると、バケット内の現在および将来のすべてのオブジェクトが、保持ポリシーで定義した期間に達するまで削除または置き換えられなくなります。[Retention policy]を選択すると、次の2つのオプションを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オブジェクトの保持期間-オブジェクトを保持する秒数、日数、月数、または年数を入力します。</li> <li>期間-時間を秒、日、月、年のいずれかで指定するかを選択します。</li> </ul>

オブジェクトのバージョン管理ツールと保持ポリシー保護ツールを同時に有効にすることはできません。については、Google Cloudのドキュメントを参照してください "[オブジェクトのバージョン管理の詳細](#)"および "[保持ポリシーの詳細](#)"。

データ暗号化	説明
Googleが管理する暗号化キー	デフォルトでは、Googleが管理する暗号化キーがデータの暗号化に使用されます。

データ暗号化	説明
お客様が管理する暗号化キー（CMEK）	<p>Googleが管理するデフォルトの暗号化キーを使用する代わりに、お客様が管理する独自のキーを使用してデータを暗号化できます。独自の顧客管理キーを使用する場合は、このページでキーを選択できるように、それらのキーを作成しておく必要があります。</p> <p>キーはバケットと同じプロジェクトに含めることも、別のプロジェクトを選択することもできます。</p>

については、Google Cloudのドキュメントを参照してください "[Googleが管理する暗号化キーの詳細については、こちらを参照してください](#)"および "[お客様が管理する暗号化キーの詳細については、こちらを参照してください](#)".

6. [追加]\*をクリックすると、バケットが作成されます。

## Google Cloud Storageバケット設定を変更します

Google Cloud Storageの作業環境がCanvasで利用できるようになったら、一部のバケットプロパティをBlueXPから直接変更できます。

バケット名、Googleプロジェクト、または保護設定は変更できません。

次のバケットプロパティを変更できます。

- バケット内の以降のすべてのオブジェクト用のストレージクラス。
- バケット内のオブジェクトに対してラベルを追加、編集、削除することができます。
- ターボレプリケーションモード-バケットがデュアルリージョンの場所にある場合のみ。

これらのバケット設定は、をクリックしてBlueXPから直接変更できます **...** > \*バケットの詳細を編集\*。

The screenshot shows the 'Overview' section of the Google Cloud Storage Buckets page. It displays summary statistics: 158 Total buckets, 3.55 TiB Total capacity, and 18 Total locations. Below this is a table of buckets. The table has columns for Bucket name, Creation date, Public Access, Location, Location type, Protection, Encryption, and Labels. A red box highlights the 'Edit bucket details' button in the 'Labels' column for the bucket named 'allenc-demo-tlveng'. Other buckets listed include 'amir-occm', 'appstream-app-settings-us-east', 'appstream2-36fb080bb8-us-ea', and 'Azure-logs-Sub1111-us-east-1'.

ボタンを選択してバケットのプロパティを編集する方法を示すスクリーンショット。"]

## ストレージクラスを変更します

[ストレージクラス]セクションでは、特定の変更のみを行うことができます。

- バケットの作成時に `_Autoclass_` を選択した場合は、オートクラスを無効にして別のストレージクラスを選択できます。
- バケットの作成時に他のストレージクラスが選択されていた場合は、 `_Autoclass_` を除く他のストレージクラスに変更できます。

別のクラスにあったオブジェクトはそのクラスに残りますが、新しいオブジェクトは新しいクラス設定を使用します。

## バケット内のオブジェクトのラベルを追加または変更します

ラベルは、リソースをグループ化してアプリケーション、環境、リージョン、クラウドプロバイダなどを識別するためのメタデータです。ラベルはキーと値で構成されます。バケットにラベルを追加して、オブジェクトがバケットに追加されたときにラベルが適用されるようにすることができます。ラベルおよびラベル値を変更および削除することもできます。

ラベルを追加または編集したら、適用\*をクリックして変更を保存します。ラベルを追加する場合は、[新しいラベルの追加]\*をクリックします。バケットごとに最大10個のラベルを追加できます。

## デュアルリージョンロケーションでターボレプリケーションを有効にするかどうかを変更します

バケットがデュアルリージョンの場所にある場合は、ターボレプリケーションモードを有効または無効にすることができます。「Turbo replication」を使用すると、15分以内に新しく書き込まれたすべてのオブジェクトの地理的冗長性を保証できます。

バケットの作成後は、その他の場所の詳細を変更することはできません。

# Google Cloud StorageバケットでNetAppデータサービスを使用

BlueXPでGoogle Cloud Storageバケットを検出したら、NetAppデータサービスを使用してバックアップ、階層化、データ同期を実行できます。

- BlueXPのバックアップとリカバリ\*を使用して、オンプレミスのONTAPシステムやCloud Volumes ONTAPシステムからGoogle Cloudオブジェクトストレージにデータをバックアップできます。

作業を開始するには、キャンバスに移動し、オンプレミスのONTAPまたはCloud Volumes ONTAP作業環境をGoogle Cloud Storage作業環境にドラッグアンドドロップします。

["ONTAPデータをGoogle Cloud Storageにバックアップする方法については、こちらをご覧ください"](#)。

- BlueXP階層化\*を使用して、アクセス頻度の低いデータをオンプレミスのONTAPクラスタからGoogle Cloudオブジェクトストレージに階層化できます。

作業を開始するには、キャンバスに移動し、オンプレミスのONTAP作業環境をGoogle Cloud Storage作業環境にドラッグアンドドロップします。

"ONTAPデータをGoogle Cloud Storageに階層化する方法については、こちらをご覧ください"。

- BlueXPのコピーと同期\*を使用して、Google Cloud Storageバケットとの間でデータを同期します。

作業を開始するには、Canvasに移動し、ソースの作業環境をターゲットの作業環境にドラッグアンドドロップします。Google Cloud Storageの作業環境は、ソースとターゲットのどちらでもかまいません。

Google Cloud Storage作業環境を選択し、[サービス]パネルの\*[コピーと同期]\*をクリックして、Cloud Storageバケットとの間でデータを同期することもできます。

"BlueXPのコピーと同期サービスの詳細については、こちらをご覧ください"。



## 著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。